

県の美術展で入選

― 中尾地区 鳥居哲次郎さん ―



熊本県美術協会主催で開催された第64回県美術展で、中尾地区の鳥居哲次郎さんの作品が、彫刻の部で入選しました。鳥居さんは独学で彫刻を学ばれ、土日、祝日などに作品を制作されるそうです。出展されたのは般若面で、今回が初めての出展でしたが、なんといきなりの入選！鳥居さんは、「努力の成果が認められ、入選して嬉しい。これをスタートとして、これからもよい作品を作っていきたい。」と、とても嬉しそうに話されていました。

戦没者の英霊を悼む - 戦没者追悼式開催 -



→ 御霊を偲び、式辞を述べられる
西川町長。

10月1日、改善センターで戦没者305柱の英霊を奉り、その遺族や関係者約200人が出席して戦没者追悼式が執り行われました。式典の中で西川町長は「戦争の悲惨さと皆様方の尊い犠牲があったことを語り継ぎ、今後も安全安心なお互いを助け合う温かな町づくりの為、努力まい進してまいります。」と挨拶。黙祷や追悼の言葉の後、光陽会津奈木支部による献詠「英霊を弔う」が捧げられました。

こちらもスポーツの秋到来！ 福祉スポーツ大会が開催されました



→ 新競技。大ききの違う3つの箱を積んで「箱運びリレー」。

10月25日、総合グラウンドで第29回福祉スポーツ大会が開かれました。この大会は、老人クラブ連合会、母子会、身体障害者互助会、民生（児童）委員協議会などの参加のもと、毎年開催（社会福祉協議会主催）されているものです。当日は、途中から雨が降り出し、急遽B&G体育館に場所を移すハプニングもありましたが、予定されていた競技はすべて行われ、結果は母子会、老人会Aの2チームの同点優勝でした。なお、開会式では振り込め詐欺撲滅宣言も行われました。

水俣消防署に新しい救助工作車・資機材等が整備されました！



→ 水俣消防署で初のクレーン付きの工作車の導入です。

10月5日、水俣消防署が国の補助（緊急消防援助隊設備整備費補助金）を得て、救助工作車と救助資機材等を整備しました。新型救助工作車は四輪駆動で、人命救助に必要なウィンチ、クレーン、発電照明灯などが付いており、重量物を排除・切断する資機材や、水難救助や山岳救助用の資機材などを搭載しているほか、複雑多様化する災害に対応でき、あわせて住民の安心・安全への期待に応えられるような様々な資機材を備えています。